

美 をつくし

MIWOTSUKUSHI

vol.178

平成24年(2012) 9月1日 発行



五条河原の芝居小屋 洛中洛外図屏風(右隻・部分)

江戸時代初期(17世紀) 本館・田万コレクション

刀をかついだカブキ者と三人の女がじゃれあう五条橋東詰。河原にはムシロ囲いの簡素な造りの芝居小屋が建つ。舞台中央には三味線を奏でる女。櫓紋の下り藤は、「かぶき踊り」で人気を博した阿国歌舞伎のトレードマークだが、その芸風を模倣した女歌舞伎の一座だろう。慶長・元和年間(1596-1624)を中心に、北野社頭と並ぶ芸能興行の拠点であった五条河原のにぎわいが活写されている。



OSAKA CITY MUSEUM OF FINE ARTS

大阪市立美術館